数学

正負の 数の たし算・ひき算

なまえ

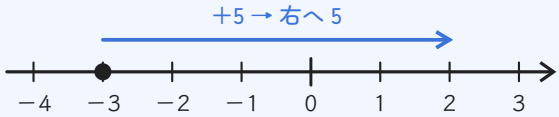
符号(ふごう)に 気を つけて、たし算と ひき算を しましょう。

やりかた



＋と －が まざると、
頭が こんがらがるよね。
ぼくも 何回も まちがえたよ。
数直線の 上を 歩く つもりで
考えると、こわくないよ。

$(-3) + (+5) = +2$



① たす：＋は 右へ、－は 左へ 進む
② ひく：ひく数の 符号を かえて たす
$(+3) - (-4) = (+3) + (+4)$

1　たし算を しましょう。

① $(+4) + (+3) =$ ☐
② $(-5) + (-2) =$ ☐
③ $(+6) + (-9) =$ ☐
④ $(-8) + (+5) =$ ☐
⑤ $(-7) + (+7) =$ ☐
⑥ $0 + (-6) =$ ☐

2　ひき算を しましょう。

⑦ $(+3) - (+8) =$ ☐
⑧ $(-4) - (+2) =$ ☐
⑨ $(+5) - (-3) =$ ☐
⑩ $(-6) - (-9) =$ ☐
⑪ $0 - (+7) =$ ☐
⑫ $(-2) - (-2) =$ ☐

3　計算しましょう。

⑬ $-3 + 8 - 6 =$ ☐
⑭ $5 - 9 + 2 - 4 =$ ☐



しょうとくクラブ 無料学習プリント　www.emina-base.com/shotokuclub/prints
ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

数学

正負の 数の たし算・ひき算

こたえ

符号(ふごう)に 気を つけて、たし算と ひき算を しましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、ひき算で、ひく数の 符号を かえ わすれる ことが 多いよ。
「−(−4)」は「+4」。ひき算は、たし算に なおしてから 計算しよう。
まちがいは、つぎに できる ための ヒントに なるよ。

1　たし算を しましょう。

① $(+4) + (+3) =$ **+7**

② $(-5) + (-2) =$ **−7**

③ $(+6) + (-9) =$ **−3**

④ $(-8) + (+5) =$ **−3**

⑤ $(-7) + (+7) =$ **0**

⑥ $0 + (-6) =$ **−6**

2　ひき算を しましょう。

⑦ $(+3) - (+8) =$ **−5**

⑧ $(-4) - (+2) =$ **−6**

⑨ $(+5) - (-3) =$ **+8**

⑩ $(-6) - (-9) =$ **+3**

⑪ $0 - (+7) =$ **−7**

⑫ $(-2) - (-2) =$ **0**

3　計算しましょう。

⑬ $-3 + 8 - 6 =$ **−1**

⑭ $5 - 9 + 2 - 4 =$ **−6**

このプリントで育つ力：数直線の上を進むイメージで、符号のちがう数をたしたりひいたりする力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。